

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
鶴岡市	62031	1	H21～H23	H21～H22
活性化計画の区域				
西郷地区（山形県鶴岡市）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
交流人口の増加	92.20%増 (4,797人の増)	83.34%増 (4,336人の増)	90.39%	

(コメント)

交流人口の増加目標92.20%増に対して、H21～H23年度の実績は 83.34%増となった。平成23年6月より都市農山漁村総合交流促進施設が開設されたが、東日本大震災により既存イベントの縮小及びイベント参加者の減少により、交流人口が目標値に対し確保できなかったものの、達成率90.39%とおおむね目標が達成されたと思われる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体				
都市農山漁村総合交流促進施設	交流活動の拠点となる農林活性化センターの整備			鶴岡市				
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日					
鶴岡市	H21	H23	H23.6.1					
事業の効果								
整備された農林活性化センターを交流活動の拠点とし、地区の固有資源の見直し、既存イベントや新規交流活動の拡充が図られ交流人口の増加に繋がることができた。								
年度	H18	H19	H20	合計	H21	H22	H23	合計
メロン関連イベント	1,320	1,033	910	3,263	2,792	843	836	4,471
松林関連イベント	400	450	500	1,350	405	501	609	1,515
修学旅行受入	24	50	36	110	64	46	46	156
稲作体験	160	160	160	480	102	99	109	310
少年団交流					13	10	5	28
環境ボランティア					353	160	151	664
セミナー					209	166	204	579
新規イベント					100	0	1,716	1,816
合計	1,904	1,693	1,606	5,203	4,038	1,825	3,676	9,539

3 総合評価

(コメント)

農林活性化センターの整備により、砂丘地農業の再認識・砂防林の希少性及び重要性の認識が住民全体で共有が図られた。また、地域特性である砂防林・砂丘地農業に関する新規交流活動により、交流人口の増加に繋がった。今後も地域の特性を生かした交流人口の増加が期待できる。

4 第三者の意見

(コメント)

当施設は、地域住民が砂丘地農業や砂防林の貴重性を自ら認識し共有することを通して、その価値を自他地域の若い世代に発信し、さらには交流人口を受け入れる場として着実に機能している。砂丘地農業などをテーマにした交流活動が、砂防林の保全などにとどまらず、農の営みが作り出した美しい村落景観の継承にも良い効果をもたらしていると考えられる。

引き続き砂丘地農業の歴史・文化を伝える農具や、交流活動で生み出された成果物などの展示を住民自らの手で充実させていくことで、一層魅力的な交流活動拠点に育っていくことが期待されるものである。

東北公益文科大学

特認教授 高谷 時彦

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。